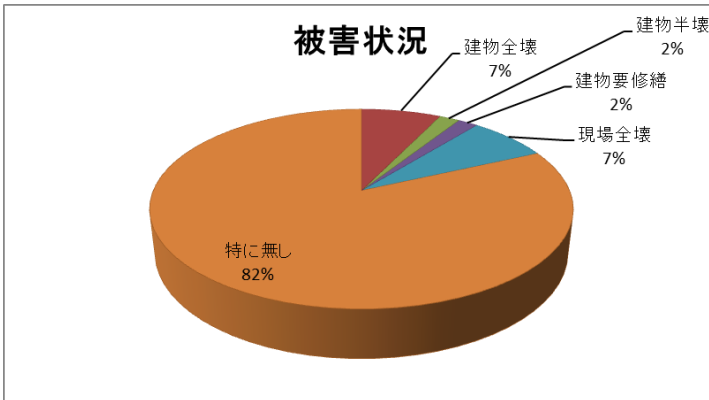


お客様の被害状況・震災の影響

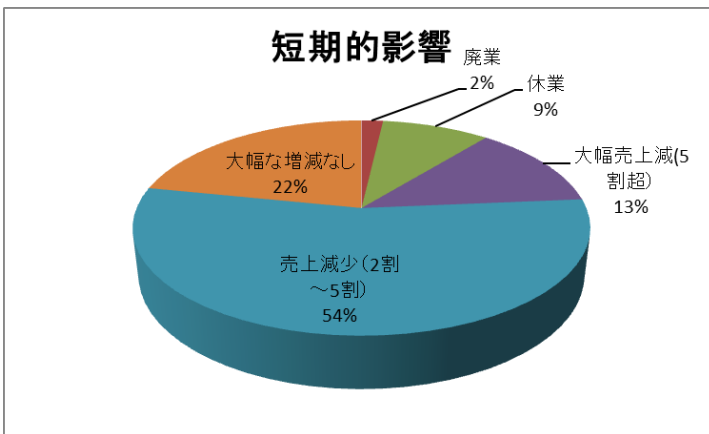
当事務所のお客様を対象に、現況・今後の収入見通し・将来展望等を当事務所職員が直接聞き取りをさせていただきました。（平成23年4月8日現在55件のお客様にお聞きいたしております。）上記内容に関しまして現在までの状況をまとめましたので、ご報告いたします。

直接的被害の状況



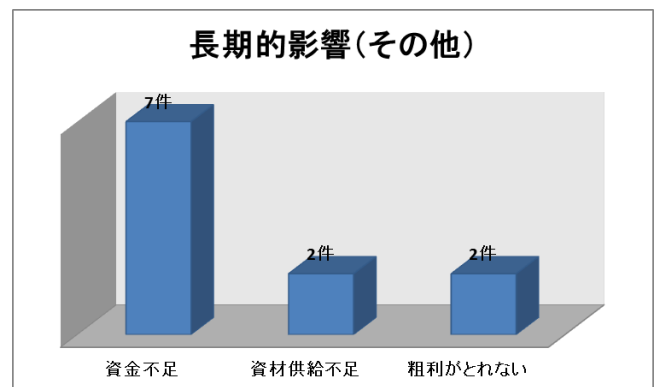
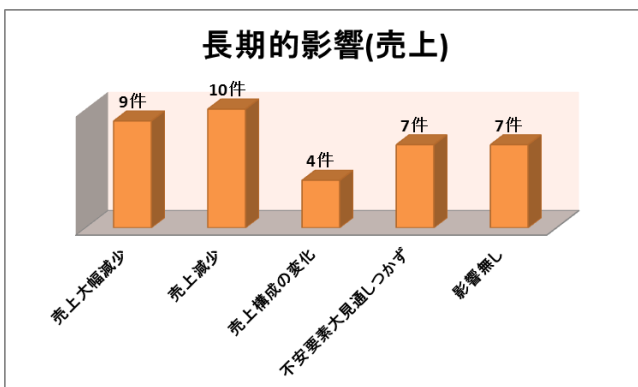
- ・建物も通帳も印鑑も免許証も全部流された。
- ・原発の放射線の汚染により営業できない状態。営業休止の状態が自宅待機。従業員は全員無事だが、全員バラバラに避難している。
- ・店舗が跡形もなく流された。（複数社）

短期的影響



- ・売掛先が被害にあっているため、回収不能に。資金繰りに直接的影響をうける。
- ・震災後営業をすぐに再開した小売店では売上が上昇することはなかったが、お客様には非常に喜んでいただけた。
- ・停電により冷蔵庫内の製造品・保存品が全て商品として販売できなかった。
- ・資材ごと現場が流されてしまった。
- ・物流がストップしたことで資材・燃料が入ってこず現場が膠着状態になった。
- ・イベント等が中止になり売上の大幅減になった。

長期的影響

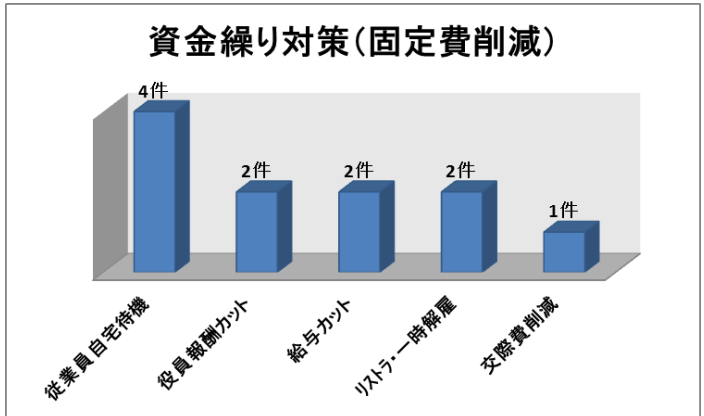
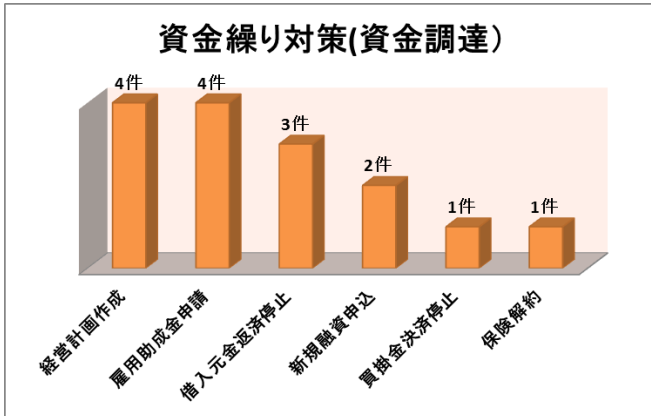


●長期的影響に関するその他のご意見

- ・燃料価格が落ち着かず下らない。
- ・災害復旧での需要は一時的なものとなる。
- ・パート社員に自宅待機をお願いしているが、自宅待機状態が長びくことで、契約解除を希望するパート社員が増加する。
- ・売上の減少による廃業も視野にいれている。
- ・自重ムードが経済に与える影響は大きい。
- ・何ヶ月かかるか分からないが今後の仕事は増加する。その時まで体力を維持できる会社は生き残る。

今後の資金繰り対策

今回の震災の影響を受け、多くのお客様が資金繰りに苦労されております。お客様の資金繰り対策例です。



その他なんでも

- ・県も救援物資の輸送に苦慮していたようだが、物流は物流のプロに頼めばすぐ対応できたはず。(運送業)
- ・震災前に建物の建て替えを依頼していたが、建築会社より資材がこの先も入る予定がなく、金額が跳ね上がり、見積もりができなかったとの連絡が入りました。(医療業)
- ・社長自ら被災地へ物資運搬。被災地では喜んでもらえました。(小売業)
- ・FMを立ち上げローカル情報を提供した。
- ・今後はビール不足になっていくのではないのでしょうか。
- ・各協会・組合の対応がなかなか決まらなくて今後の見通しがたてられません。
- ・テレビで放送されていない現実がたくさんあります。
- ・岩手から元気になりたいです！

今回の震災では、直接的な被害を受けた方はもちろん、間接的な被害を多くの方が受けました。

当事務所のお客様も例外ではありません。

安否確認から始まった、聞き取りの調査でしたが、状況のまとめをしてみると、一事業者だけの問題ではありませんでした。

このような形で状況報告することで、見通しの暗い状況の打開案や、方向性が見えてくるきっかけになればと思います。

当然のことながら、当事務所も間接的な被害を感じております。しかし、会計事務所という業務を通じて税務・会計に関する情報の発信等に努め、お客様と支え合いながら前を向いていきたいと思っております。